

# エコアクション21 環境活動レポート

運用期間  
2018年4月～2019年3月

2019年6月21日発行

対象範囲 本社・事務所、川崎支店、  
日立那珂支店



豊かな自然を未来へ引き継ぐ。

KIC

黒田興業株式会社

## 目次

1	組織概要	1
2	対象範囲	2
3	機械の処理能力	3
4	関連許認可・許可品目	4
5	中間処理フロー	5
6	実施体制	6
7	組織図	7
8	環境方針	8
9	環境目標	9
10	環境負荷の実績	11
11	環境活動計画	13
12	環境目標に対する実績と評価	14
13	環境活動計画に対する評価及び 次年度の取組内容	17
14	環境関連法規等取りまとめ	18
15	代表者による全体評価と見直し	20

## 1. 組織概要

- ① 事業者名及び代表者名  
黒田興業株式会社 代表取締役 黒田 知憲
- ② 事業内容  
金属スクラップの購入、金属スクラップの加工、加工後の金属原料の販売、  
産業廃棄物処理業（収集・運搬、中間処理）
- ③ 所在地
- |        |   |
|--------|---|
| 本社・事務所 | 〒130-0026 東京都墨田区両国四丁目38番16号<br>TEL 03-3631-5145 FAX 03-3631-5140<br>URL <a href="http://www.r-kic.co.jp/">http://www.r-kic.co.jp/</a> |
| 川崎支店   | 〒210-0852 神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1<br>TEL 044-366-3111 FAX 044-366-0442   |
| 日立那珂支店 | 〒311-0102 茨城県那珂市向山1225-2<br>TEL 029-295-2012 FAX 029-295-5409   |
| 太田支店   | 〒373-0826 群馬県太田市古戸町1244<br>TEL 0276-38-0570 FAX 0276-38-5635  |
- ④ 事業規模
- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 法人設立年月日     | 昭和22年9月23日       |
| 資本金         | 4,000万円          |
| 売上高（全社）     | 4,292百万円（平成30年度） |
| 売上高（川崎支店）   | 1,342百万円（平成30年度） |
| 売上高（日立那珂支店） | 1,344百万円（平成30年度） |
| 従業員数        | 55人（平成31年3月末現在）  |
| 敷地面積        | 27,986㎡（全社）      |
| 内訳          | 本社 109㎡          |
| 川崎          | 5,716㎡           |
| 太田          | 10,140㎡          |
| 那珂          | 12,021㎡          |
- ⑤ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
- |         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 環境管理責任者 | 古屋敷 正人                               |
| 連絡先     | TEL 03-3631-5145<br>FAX 03-3631-5140 |

⑥ 設備一覧（対象事業所 川崎支店、日立那珂支店）

〈川崎支店〉

加工処理機械

オートマチックプレス機 1基  
 1,000 t マウントシャー 1基  
 1,250 t ギロチンシャー 1基  
 4.5t天井クレーン(リフマグ) 1基  
 7.5t天井クレーン(リフマグ) 1基  
 7.5/7.5t天井クレーン(リフマグ・グラブ) 1基

重機

ショベルローダー 1台  
 油圧ショベル 1台

運搬車両

15 t 車 1台  
 10 t 車 1台 ユニック  
 8 t 車 1台  
 4 t 車 1台 アームロール 計4台

〈日立那珂支店〉

加工処理機械

800tマウントシャー 1基  
 1,250馬力乾式シュレッダー 1基  
 400馬力プレシュレッダー 1基  
 12t天井クレーン(リフマグ) 1基  
 10t/5t天井クレーン(リフマグ・グラブ) 1基

重機

ショベルローダー 2台  
 油圧ショベル 2台  
 フォークリフト 2台

運搬車両

15 t 車 1台 ヒアブ  
 8 t 車 1台 ヒアブ  
 4 t 車 1台 ヒアブ  
 トレーラー 1台  
 15t車 1台 平ボディ  
 8 t 車 1台  
 4 t 車 1台 アームロール  
 4 t 車 1台 計8台

⑦ 関連許認可		許可番号	取得日	有効期限
産業廃棄物処分業	川崎市	第5720038805号	1999/4/1	2024/5/31
	群馬県	第01020038805号	1998/5/18	2023/5/17
	茨城県	第0821038805号	1997/4/24	2022/4/23
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	第142038805号	1996/4/3	2021/4/2
	群馬県	第01000038805号	1998/3/17	2023/3/16
	茨城県	第0801038805号	1997/5/22	2022/5/21
	埼玉県	第1104038805号	1998/4/1	2023/3/31
	栃木県	第0900038805号	2003/5/1	2023/4/30
	千葉県	第1200038805号	1999/7/15	2025/7/14
	東京都	第1300038805号	2002/4/1	2022/3/31
破砕業(自動車リサイクル)	茨城県	第20085002198号	2004/7/1	2019/6/30
古物商	神奈川県	第452510500038号	1993/8/25	
	群馬県	第421110130000号	1993/9/27	
	茨城県	第401050000379号	2000/8/14	
第一種フロン類回収業者	茨城県	第12460号	2017/6/23	2022/6/22

⑧ 処理料金  
 金属は基本的に有価になります。産業廃棄物は処理料金を頂きます。金額については種類、量、形態によって異なります。

⑨ 事業の規模 (全社)

活動規模

売上高  
 従業員  
 敷地面積

単位	年度		
	2016年	2017年	2018年
百万円	3,414	4,031	4,292
人	63	62	55
m <sup>2</sup>	27,986	27,986	27,986

## 2. 対象範囲 (認証・登録範囲)

◆対象事業所

本社・事務所 東京都墨田区両国四丁目38番16号  
 川崎支店 神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1  
 日立那珂支店 茨城県那珂市向山1225-2

◆対象外事業所

太田支店 群馬県太田市古戸町1244

来年度以降に拡大を考慮する。

## 3. 機械の処理能力 (中間処理業の能力)

### 川崎支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
廃プラスチック類	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	20t/日
ガラスくず	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	90t/日
金属くず	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	198t/日
金属くず	オートマチックプレス機	圧縮処理	12.2t/日

### 日立那珂支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
金属くず、廃プラスチック類 金属くず	1,250馬力乾式シュレッダー	破砕処理	240t/日

#### 4. 関連許認可・許可品目

##### ◆産業廃棄物処分業

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
川崎市	第5720038805号	1999/4/1 2024/5/31	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず 以上3種類
群馬県	第01020038805号	1998/5/18 2023/5/17	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上4種類
茨城県	第0821038805号	1997/4/24 2022/4/23	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類

##### ◆産業廃棄物収集運搬業

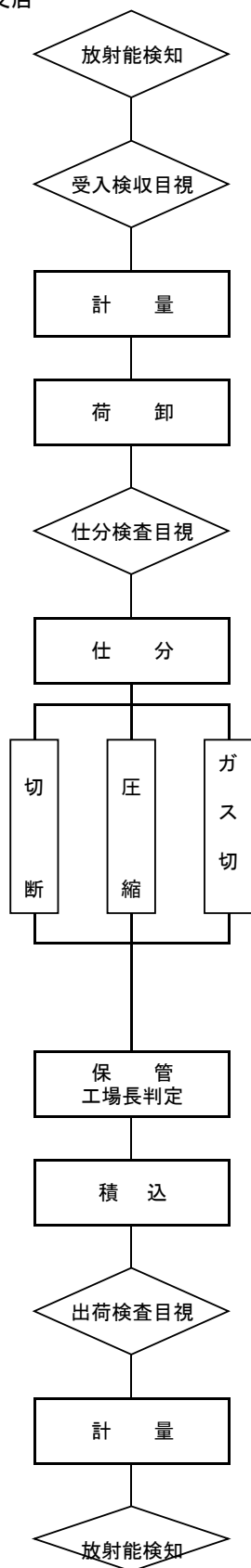
都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
神奈川県	第1402038805号	1996/4/3 2021/4/2	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上9種類
群馬県	第01000038805号	1998/3/17 2023/3/16	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上8種類
茨城県	第0801038805号	1997/5/22 2022/5/21	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
埼玉県	第01104038805号	1998/4/1 2023/3/31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上8種類
栃木県	第0900038805号	2003/5/1 2023/4/30	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上4種類
千葉県	第1200038805号	1999/7/15 2025/7/14	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
東京都	第1300038805号	2002/4/1 2022/3/31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 以上7種類

◆破砕業(自動車リサイクル) 茨城県 第20085002198号 取得2004/7/1 期限2025/6/30

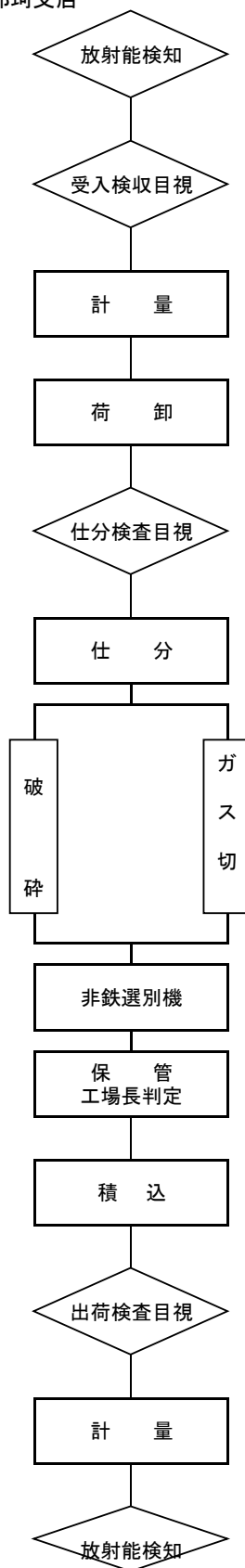
◆古物商  
 神奈川県 第452510500038号 取得1993/8/25  
 群馬県 第421110130000号 取得1993/9/27  
 茨城県 第401050000379号 取得2000/8/14

◆第一種フロン類回収業者 茨城県 第12460号 取得2004/7/1 期限2022/6/30

5. 中間処理フロー  
川崎支店

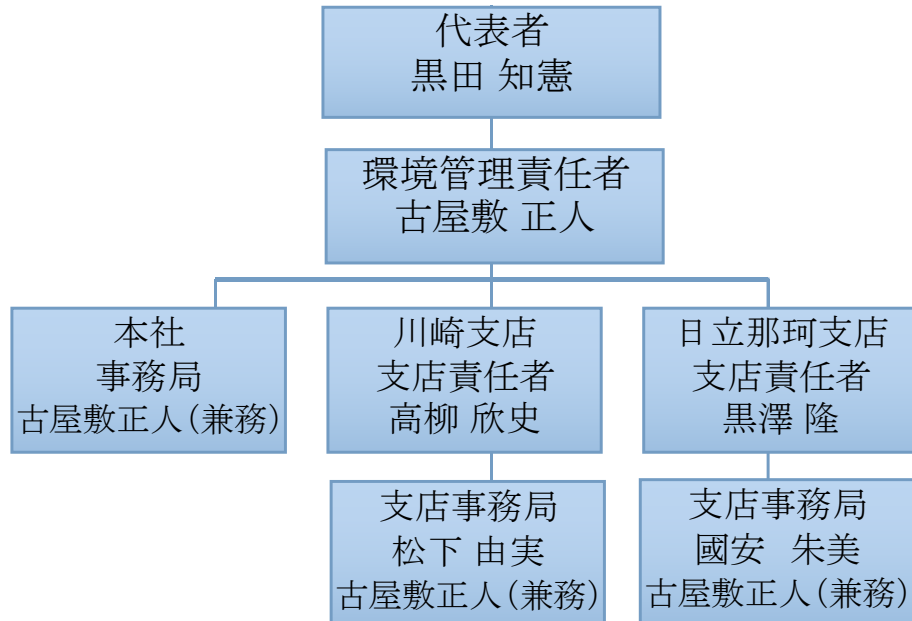


日立那珂支店



## 6. 実施体制

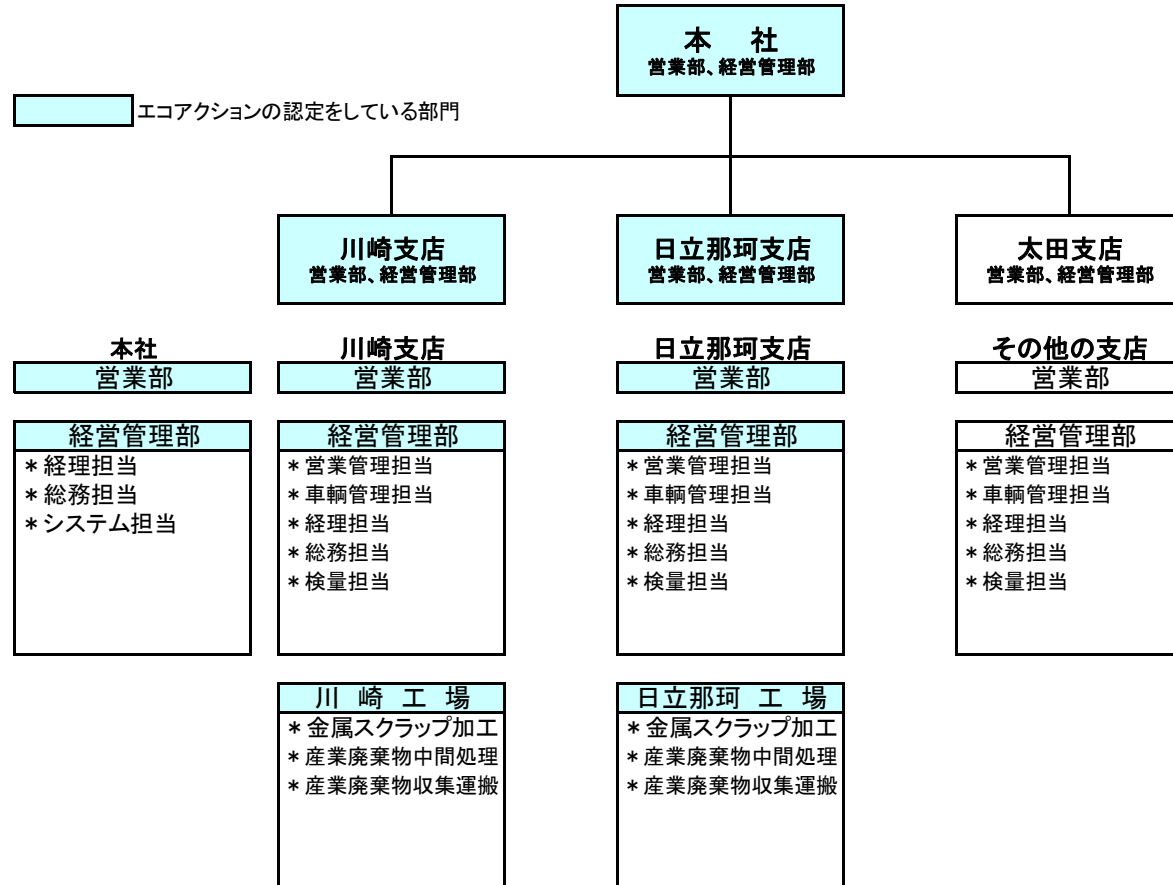
### 黒田興業株式会社 エコアクション21組織図



### 役割分担

組織名称	役割、責任
代表者	環境管理責任者の任命 環境方針の決定 環境経営システムの構築・実施及び管理に必要な資源の準備 環境経営システムの定期的見直しの実施 環境目標及び計画の承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理の継続的改善 環境経営システムの代表者への報告 環境目標及び環境活動計画の策定 環境関連文書の記録作成、管理 関連法規の取りまとめ表の維持
各事務局 (事務責任者)	環境管理責任者の補佐 環境経営システムに関する事務、記録作成 関連法規の順守状況の確認
本社 営業部員・経営 管理部員	本社における環境経営システム活動に参加 環境目標のための活動(コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する
各支店責任者	支店における環境活動の運用 環境目標の実施事項に対する問題点・是正処置を実施 支店における記録の作成と管理
各支店事務局 (事務責任者)	環境管理責任者の補佐 環境経営システムに関する事務、記録作成 関連法規の順守状況の確認
各支店 営業部員・経営管 理部員 工場従業員	支店の環境経営システム活動に参加する 環境目標のための活動(省電力、産業廃棄物の分別、コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する





## 8.環境方針

### 環 境 方 針

#### <基本理念>

「鉄の生命を繋ぐことは地球の生命を守ること」  
を基本コンセプトに、全ての事業活動において、従業員一人一人が環境保全活動に  
取り組み、環境を守ることが地域社会に貢献するという理念のもと、人と自然の豊かな  
未来を目指します。

#### <環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組みます。
  - ①省エネルギー推進
  - ②電気・水道・ガソリン等の使用量削減
  - ③グリーン調達推進
3. 深刻なごみ問題に取り組む為、より繊細な廃棄物の分別およびリサイクルの推進経営に  
取り組みます。
4. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
5. 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底するとともに、自社のホームページに掲載  
社会に公表いたします。

平成 31 年 1 月 15 日

黒田興業株式会社  
代表取締役

黒田知憲

## 9. 環境目標 2018年度 本社 川崎 那珂

文書②環境目標

当社の2018年度(2018年4月～2019年)における環境目標を以下に示す

作成日: 2018/6/22

原単位の算定には川崎と那珂はヤードの売上数量、本社は全社のヤード売上数量を用いる 1/2 ページ

### ◆本社、川崎支店、那珂支店

中期目標	2017年度基準値より3年間で3%減
今期目標	2017年度基準値より2%減

### ◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	基準値
二酸化炭素排出量	本社事務所	kgCO <sub>2</sub> /t	0.0418
電気使用量	本社事務所	kwh/t	0.0729
ガス使用量	本社事務所	m <sup>3</sup> /t	0.0000177

中期目標 2017年度基準値比 3%減		
2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
0.0414	0.0410	0.0405
0.0722	0.0714	0.0707
0.0000175	0.0000173	0.0000175

### ◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	基準値
二酸化炭素排出量	川崎工場	kgCO <sub>2</sub> /t	13.067
電気使用量	川崎工場	kwh/t	14.725
ガス使用量	川崎工場	kg/t	0.084
自動車ガソリン使用量	川崎工場	ℓ/t	0.164
トラック軽油使用量	川崎工場	ℓ/t	0.633
重機他軽油使用量	川崎工場	ℓ/t	1.110

中期目標 2017年度基準値比 3%減		
2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
12.936	12.806	12.675
14.578	14.431	14.283
0.084	0.083	0.082
0.162	0.161	0.159
0.627	0.620	0.614
1.099	1.088	1.077

### ◆那珂支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	基準値
二酸化炭素排出量	那珂工場	kgCO <sub>2</sub> /t	25.311
電気使用量	那珂工場	kwh/t	36.511
ガス使用量	那珂工場	kg/t	0.208
自動車ガソリン使用量	那珂工場	ℓ/t	0.088
トラック軽油使用量	那珂工場	ℓ/t	2.346
重機他軽油使用量	那珂工場	ℓ/t	0.594

中期目標 2017年度基準値比 3%減		
2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
25.058	24.805	24.552
36.146	35.781	35.416
0.206	0.204	0.202
0.087	0.086	0.085
2.322	2.299	2.275
0.588	0.582	0.576

## ◆水使用量の低減（ヤードの売上数量当たり）

項目	対象	単位	2017年度
			基準値
水使用量	本社事務所	m <sup>3</sup> /t	0.00380
	川崎工場	m <sup>3</sup> /t	0.0184
	那珂工場	m <sup>3</sup> /t	0.1661

→

→

→

中期目標 2017年度基準値比 3%減		
2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
0.00376	0.00372	0.00369
0.0182	0.0180	0.0178
0.1644	0.1627	0.1611

## ◆紙使用量（ヤードの売上数量当たり）

項目	対象	単位	2017年度
			基準値
コピー用紙使用量	本社事務所	枚/t	0.3140
	川崎工場	枚/t	0.7230
	那珂工場	枚/t	1.0695

中期目標 2017年度基準値比 3%減		
2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
0.311	0.308	0.305
0.716	0.709	0.701
1.059	1.048	1.037

## ◆自社発生廃棄物の削減（ヤードの売上数量当たり）

項目	対象	単位	2017年度
			基準値
産業廃棄物処分量	川崎工場	t/t	0.0135
	那珂工場	t/t	0.1100
一般廃棄物処分量	本社事務所	ℓ/t	0.000015
	川崎工場	ℓ/t	0.000036
	那珂工場	ℓ/t	0.000132

中期目標 2017年度基準値比 3%減		
2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標
基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減
0.0134	0.0132	0.0131
0.1089	0.1078	0.1067
0.000015	0.000015	0.000015
0.000036	0.000035	0.000035
0.000131	0.000130	0.000129

## ◆グリーン購入の推進 グリーン購入は記録活動のみとする

グリーン購入の推進	本社事務所	個	-
	川崎工場	個	-
	那珂工場	個	-

## ◆当社は化学物質の使用はありません。

10. 環境負荷の実績

◆本社

環境への負荷		単位	2016年	2017年	2018年
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	4,520	4,032	3,847
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t			
	中間処理用	t			
	うち再資源化等量	t			
	最終処分量	t			
	中間処理後の産廃の処分量	t			
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t			
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物 (事業系一般廃棄物)	t	1,580	1,170	1,130
		t			
		最終処分量	t		
	産業廃棄物 (産廃) (特別管理)	t			
		t			
		最終処分量	t		
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>			
	下水道	m <sup>3</sup>	39	42	52
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	39	42	52
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
	その他	m <sup>3</sup>			
エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	75,691	83,624	81,854
	化石燃料	MJ			
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			
物質使用量	資源使用量	t			
	循環資源使用量	t			
サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t			
	水の利用量	m <sup>3</sup>			

◆川崎

環境への負荷		単位	2016年	2017年	2018年
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	484,959	406,641	379,804
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	165.17	77.63	58.18
	中間処理用	t	727.77	597.77	1,663.80
	うち再資源化等量	t	653.18	558.14	1,652.51
	最終処分量	t	0.00	0.00	0.00
	中間処理後の産廃の処分量	t	74.59	39.63	11.29
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t	653.18	558.14	1,652.51
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物 (事業系一般廃棄物)	t	1,440	1,080	1,080
		t			
		最終処分量	t	1,440	1,080
	産業廃棄物 (産廃) (特別管理)	t	749.98	837.85	1,025.60
		t			
		最終処分量	t	749.98	837.85
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	699	582	559
	下水道	m <sup>3</sup>			
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	699	582	559
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
	その他	m <sup>3</sup>			
エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	6,157,089	5,854,001	6,241,539
	化石燃料	MJ	3,269,895	2,064,203	1,706,635
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			
物質使用量	資源使用量	t	40,132	32,661	36,105
	循環資源使用量	t			
サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t			
	水の利用量	m <sup>3</sup>			

## ◆那珂

環境への負荷		単位	2016年	2017年	2018年	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>		766,152	709,938	
受託した産業廃棄物の 処理量	収集運搬量	t		324.89	446.83	
	中間処理用	t		818.24	899.57	
	うち再資源化等量	t		617.04	630.52	
	最終処分量	t		0.00	0.00	
	中間処理後の産廃の処分量	t		201.20	269.06	
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t		617.04	630.52	
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物 (事業系一般廃棄物)		t		3,690	3,780
		最終処分量	t		3,690	3,780
	産業廃棄物	(産廃)	t		3,329.96	3,028.32
		(特別管理)	t			
		最終処分量	t		3,329.96	3,028.32
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>		4,257	4,348	
	下水道	m <sup>3</sup>				
水使用量	上水	m <sup>3</sup>		4,257	4,348	
	工業用水	m <sup>3</sup>				
	地下水	m <sup>3</sup>				
		m <sup>3</sup>				
エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ		14,382,703	13,739,576	
	化石燃料	MJ				
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
物質使用量	資源使用量	t		30,255	30,338	
	循環資源使用量	t				
サイト内で循環的利用を 行っている物質等	利用された物質	t				
	水の利用量	m <sup>3</sup>				

## 11.2018年度の環境活動計画

作成日 2018年6月22日

文書③環境活動計画

項目	実施内容(手段)	担当者	評価	備考
二酸化炭素排出削減 ギロチンシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように 目視徹底	工場長		
二酸化炭素排出削減 マウントシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように 目視徹底	工場長		
二酸化炭素排出削減 天井クレーン(電力)	目視による重量物の判断。 マグネットで無理なら玉掛け	工場長		
二酸化炭素排出削減 スクラッププレス(電力)	投入物の目視徹底、フィルター清掃	川崎工場長		
二酸化炭素排出削減 乾式シュレッダー(電力)	投入物の目視徹底	那珂工場長		
二酸化炭素排出削減 油圧ショベル(軽油)	低回転での作業、軽油の使用量管理	工場長		
二酸化炭素排出削減 フォークリフト ショベルローダー(軽油)	急発進、エンジンのふかし禁止 軽油の使用量管理	工場長		
二酸化炭素排出削減 営業車、トラック (ガソリン、軽油)	アイドリングストップ、エコドライブ 車両の点検・整備 ガソリン・軽油の使用量管理 エコドライブ配布資料	営業社員		
二酸化炭素排出削減 事務所	観葉植物の栽培	古屋敷		
二酸化炭素排出削減 事務所(電力)	エアコンの温度管理28℃、裏紙利用促	古屋敷		
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	事務所 紙、缶、ペットボトルの分別徹底	古屋敷 支店長代理		
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	現場 鉄、非鉄、ダストの分別徹底	工場長		
水使用量の削減 節水	無駄にしないように周知徹底 標語等の表示、洗濯はまとめて行う	古屋敷		
紙使用の削減 コピー用紙の削減	裏紙利用を徹底 印刷ミスをなくすように確認	古屋敷		
グリーン購入の推進	エコマーク等、環境に配慮された製品を積極 購入する	古屋敷		
製鋼原料の品質向上	持ち込まれた金属の分別を徹底する事で 外部にダスト付着物を出さず、 異物引きを抑える	支店長		
生活環境の改善 粉塵の飛散防止	定期的な散水、床清掃機で粉塵が舞わないよ う元から断つ	支店長		
生活環境の改善 振動、騒音	外壁による音の遮断、5時以降の運転を控える 騒音振動の自主測定による現状把握	古屋敷		
生活環境の改善 廃油雨水の流出	油水分離槽の定期チェック及び、油流出時は 吸着マット等対応	支店長		
生活環境の改善 火災爆発事故防止	消火器点検、危険物混入の目視チェック	支店長		
生活環境の改善 放射性物質混入防止	L型ゲートモニタで監視、機械が反応した場合 ハンディタイプのメーターで混入物特定。 特定後適切に処理(返品等)	工場長		
環境保全活動の指示	定期的なトレーニング、目的目標の周知 地域住民から苦情のないよう徹底する。	古屋敷 支店長		

## 12.環境目標に対する実績と評価

本社、川崎

記録⑥環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況

原単位の算定には川崎はヤードの売上数量、本社は全社のヤード売上数量を用いる

作成日：2019/6/14

1/3 ページ

### ◆本社、川崎支店

今期目標	2017年度基準値より2%減※
------	-----------------

※2%減の値は緑で表示

※二酸化炭素排出係数

本社 0.462kg・CO<sub>2</sub>/kWh(2018年 東京電力エナジーパートナー調整値)

川崎 0.416kg・CO<sub>2</sub>/kWh(2018年 日本テックノ調整値)

那珂 0.462kg・CO<sub>2</sub>/kWh(2018年 東京電力エナジーパートナー調整値)

### ◆サイトの売上数量(ヤード売上)

項目	サイト	単位	2017年	2018年
サイト売上数量	川崎	t	32,661	37,054
サイト売上数量	太田	t	38,372	41,380
サイト売上数量	日立那珂	t	30,335	30,809
サイト売上数量	全社	t	101,368	109,243

### ◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	2017年	2018年	単位	基準値	2018年	2018年度	増減	評価
			実測値	実測値		原単位	実測値	目標		
二酸化炭素排出量	本社事務所	kgCO <sub>2</sub>	4,032	3,847	kgCO <sub>2</sub> /t	0.0418	0.0352	0.0410	14.2% 減	○
電気使用量	本社事務所	kwh	8,507	8,327	kwh/t	0.0729	0.0762	0.0714	6.80% 増	×
ガス使用量	本社事務所	m <sup>3</sup>	0	0	m <sup>3</sup> /t	0.0000177	0	0.0000173	- -	○

二酸化炭素は削減できました。未達ですが電気使用量は総量では前年比マイナスになっております。

原単位に関しては目標値以前に基準値を超えているので数値を追って適切に対応する。

### ◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	2017年	2018年	単位	基準値	2018年	2018年度	増減	評価
			実測値	実測値		原単位	実測値	目標		
二酸化炭素排出量	川崎工場	kgCO <sub>2</sub>	406,641	379,804	kgCO <sub>2</sub> /t	13.067	10.250	12.806	20.0% 減	○
電気使用量	川崎工場	kwh	595,524	634,984	kwh/t	14.725	17.137	14.431	18.8% 増	×
ガス使用量	川崎工場	kg	2,750	3,050	kg/t	0.084	0.082	0.083	1.3% 減	○
自動車ガソリン使用量	川崎工場	ℓ	2,527	3,924	ℓ/t	0.164	0.106	0.161	34.2% 減	○
トラック軽油使用量	川崎工場	ℓ	15,667	9,093	ℓ/t	0.633	0.245	0.620	60.5% 減	○
重機他軽油使用量	川崎工場	ℓ	34,169	34,778	ℓ/t	1.11	0.939	1.088	13.7% 減	○

二酸化炭素全体で見ると削減出来ました。個別で見ると電気が増加傾向にあるので注視します。

また電気使用量は設定基準値より大分大きい値である事から見直す事も検討する。



## ◆那珂支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量当たり)

2/3 ページ

項目	対象	単位	2017年 実測値	2018年 実測値	単位	基準値	2018年 実測値	2018年度 目標	増減	評価
			総量	総量		原単位	原単位	基準値2%減		
二酸化炭素排出量	那珂工場	kgCO2	766,152	709,938	kgCO2/t	25.311	23.043	24.805	7.1% 減	○
電気使用量	那珂工場	kwh	1,099,187	1,094,053	kwh/t	36.511	35.511	35.781	0.8% 減	○
ガス使用量	那珂工場	kg	6,330	6,202	kg/t	0.208	0.201	0.204	1.5% 減	○
自動車ガソリン使用量	那珂工場	ℓ	2,487	2,078	ℓ/t	0.088	0.067	0.086	22.1% 減	○
トラック軽油使用量	那珂工場	ℓ	71,238	60,706	ℓ/t	2.346	1.970	2.299	14.4% 減	○
重機他軽油使用量	那珂工場	ℓ	18,659	14,169	ℓ/t	0.594	0.460	0.582	21.0% 減	○

目標を達成しました。

## ◆水使用量の低減 (ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	2017年 実測値	2018年 実測値	単位	基準値	2018年 実測値	2018年度 目標	増減	評価
			総量	総量		原単位	原単位	基準値2%減		
水使用量	本社事務所	m <sup>3</sup>	42	52	m <sup>3</sup> /t	0.0038	0.00048	0.00372	87.3% 減	○
	川崎工場	m <sup>3</sup>	582	559	m <sup>3</sup> /t	0.0184	0.0151	0.0180	16.2% 減	○
	那珂工場	m <sup>3</sup>	4,257	4,348	m <sup>3</sup> /t	0.1661	0.1411	0.1627	13.3% 減	○

目標を達成しました。

## ◆紙使用量(ヤードの売上数量当たり)

項目	対象	単位	2017年 実測値	2018年 実測値	単位	基準値	2018年 実測値	2018年度 目標	増減	評価
			総量	総量		原単位	原単位	基準値2%減		
コピー用紙使用量	本社事務所	枚	36,000	34,500	枚/t	0.314	0.316	0.308	2.6% 増	×
	川崎工場	枚	27,500	28,000	枚/t	0.723	0.756	0.709	6.7% 増	×
	那珂工場	枚	31,280	33,732	枚/t	1.0695	1.095	1.048	4.5% 増	×

目標達成できませんでした。微増ではありますが売上数量当たりであるので総量を現状維持できれば目標値に向けて進められると考えます。

## ◆自社排出廃棄物の削減(ヤードの売上数量当たり)

3/3 ページ

項目	対象		2017年 実測値	2018年 実測値		基準値	2018年 実測値	2018年度 目標		評価
		単位	総量	総量	単位	原単位	原単位	基準値2%減	増減	
産業廃棄物処分量	川崎工場	t	838	1,026	t/t	0.0135	0.0277	0.0132	109.8% 増	×
	那珂工場	t	3,330	3,028	t/t	0.11	0.0983	0.1078	8.9% 減	○
一般廃棄物処分量	本社事務所	ℓ	1,170	1,170	ℓ/t	0.000015	0.000011	0.000015	26.7% 減	○
	川崎工場	ℓ	1,080	1,080	ℓ/t	0.000036	0.000029	0.000035	17.2% 減	○
	那珂工場	ℓ	3,690	3,780	ℓ/t	0.000132	0.000123	0.000131	6.2% 減	×

川崎の産業廃棄物処分量以外は目標達成できました。例年に対してゴミの付き具合が多くなっていて処分量が増えました。

次年度の動向を見て目標値を変更する事も考えていきます。

## ◆グリーン購入の推進 グリーン購入は記録活動のみとする

項目	対象	単位	2017年 実測値	2018年 実測値
グリーン購入の推進	本社事務所	個	38	28
	川崎工場	個	90	118
	那珂工場	個	88	74

## 13.環境活動の評価及び次年度の取組内容(環境活動計画見直し)

作成日 2019年6月14日

項目	実施内容(手段)	担当者	評価	備考	次年度取組
二酸化炭素排出削減 ギロチンシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 マウントシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 天井クレーン(電力)	目視による重量物の判断。 マグネットで無理なら玉掛け	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 スクラッププレス(電力)	投入物の目視徹底、フィルター清掃	川崎工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 乾式シュレッダー(電力)	投入物の目視徹底	那珂工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 油圧シヨベル(軽油)	低回転での作業、軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 フォークリフト シヨベルローダー(軽油)	急発進、エンジンのふかし禁止 軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 営業車、トラック (ガソリン、軽油)	アイドリングストップ、エコドライブ 車両の点検・整備 ガソリン・軽油の使用量管理 エコドライブ配布資料	営業社員	○	実施されている	継続
二酸化炭素排出削減 事務所	観葉植物の栽培	古屋敷	○	順調に生育している	継続
二酸化炭素排出削減 事務所(電力)	エアコンの温度管理28℃、裏紙利用促	古屋敷	△	2019年度より 温度計が25℃を指したらエアコンを入れる。	見直して継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	事務所 紙、缶、ペットボトルの分別徹底	古屋敷 支店長代理	○	実施されています。	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	現場 鉄、非鉄、ダストの分別徹底	工場長	△	川崎は分別以上に付着が多い様子要検討 那珂は順調	継続
水使用量の削減 節水	無駄にしないように周知徹底 標語等の表示、洗濯はまとめて行う	古屋敷	○	実施されている	継続
紙使用の削減 コピー用紙の削減	裏紙利用を徹底 印刷ミスをなくすように確認	古屋敷	○	実施されている	継続
グリーン購入の推進	エコマーク等、環境に配慮された製品を積極購入する	古屋敷	○	実施されている	継続
製鋼原料の品質向上	持ち込まれた金属の分別を徹底する事で外部にダスト付着物を出さず、異物引きを抑える	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 粉塵の飛散防止	定期的に散水、床清掃機で粉塵が舞わないよう元から断つ	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 振動、騒音	外壁による音の遮断、5時以降の運転を控える 騒音振動の自主測定による現状把握	古屋敷	○	川崎 2018/4/27 実施 那珂 2018/6/07 実施	継続
生活環境の改善 廃油雨水の流出	油水分離槽の定期チェック及び、油流出時は吸着マット等対応	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 火災爆発事故防止	消火器点検、危険物混入の目視チェック	支店長	○	川 2018年9月27日、2019年3月19日実施 那 2018年6月9日、2018年12月22日実施	継続
生活環境の改善 放射性物質混入防止	L型ゲートモニターで監視、機械が反応した場合ハンディタイプのメーターで混入物特定。特定後適切に処理(返品等)	工場長	○	実施されている	継続
環境保全活動の指示	定期的にトレーニング、目的目標の周知 地域住民から苦情のないよう徹底する。	古屋敷 支店長	○	実施されている	継続

化学物質の取扱い無し

### 14. 環境関連法規等取りまとめ 順守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめます。  
過去1年間違反、訴訟等はありませんでした。

作成日：2019/6/14

作成社：古屋敷正人

#### 頻度高いもの

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
フロン排出抑制法	回収基準に従い回収する	ガイドラインの手順通り実施	支店長代理	都度
	フロン回収工程管理表の利用	ガイドラインの手順通り実施	工場長	都度
	回収実績の報告	報告書確認	支店長代理	-
	3か月ごとの簡易点検の実施	点検記録確認	工場長	点検表
水質汚濁防止法	油の漏洩の防止	油対応手順	工場長	点検表
浄化槽法	年1回の保守点検及び清掃 2か月点検の実施	点検表確認	工場長	点検表
グリーン購入法	事業者の環境物品等の取組	グリーン購入記録で確認	支店長代理	チェック表
廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	提出の確認 毎年6月頃	支店長代理	提出済
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例施行規則（川崎支店）	騒音規制値 測定義務はないが自主的に測定	騒音振動測定記録表	環境管理責任者	2018.4.27 実施
	振動規制値 測定義務はないが自主的に測定	騒音振動測定記録表	環境管理責任者	2018.4.27 実施
騒音規制法 振動規制法（日立那珂支店）	騒音規制値 測定義務はないが自主的に測定	騒音振動測定記録表	環境管理責任者	2018.6.7 実施
	振動規制値 測定義務はないが自主的に測定	騒音振動測定記録表	環境管理責任者	2018.6.7 実施
小型家電リサイクル法	第7条 事業者は、その事業活動に伴って生じた使用済小型電子機器等を排出する場合には、当該使用済小型電子機器等を分別して排出し、第十条第三項の認定を受けた者その他使用済小型電子機器等の収集若しくは運搬又は再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努めなければならない	受入れ時の確認徹底	支店長代理	都度確認
電気事業法	電気事業法第42条第1項に規定する保安規程の遵守義務 保安規定に則り定期点検を実施する	業者の実施結果を保管する	工場長	点検表
川崎市規則 危険物の規制に関する細則第15条	危険物施設を休止、再開する場合に7日前に届出が必要	現在休止中 2023年8月22日 再開の判断	支店長代理 工場長 環境管理責任者	日付の確認

## 14. 環境関連法規等取りまとめ 順守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめます。  
過去1年間違反、訴訟等はありませんでした。

作成日: 2019/6/14

作成社: 古屋敷正人

## 頻度低いもの

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
古物営業法	第7条第1項 役員の変更 第7条第4項 許可証書換 役員の変更の際、14日以内に届出 履歴事項全部証明 住民票必要	届出	環境管理 責任者	順守確認
自動車NOX・PM法	八都県を走行するときにNOx・PMに係る適合 車で走行する	車検証にて確認	環境管理 責任者	順守確認
廃棄物処理法	廃棄物は自らの責任で適正に処理する	案件毎の マニフェスト表確 認	支店長代理	順守確認
	廃棄物の委託基準等を順守する	許可の状況確認	支店長代理	順守確認
	保管場所に掲示板(60cmx60cm)を設置	設置状況の目視	支店長代理	順守確認
	委託先の許可証の確認	契約の都度確認	支店長代理	順守確認
	委託契約書の締結	契約の都度	支店長代理	順守確認
	廃棄物管理表(マニフェスト)の交付・保管・戻り 状況、保管状況の確認	案件毎の マニフェスト表確 認	支店長代理	順守確認
	産業廃棄物保管場所の確認 積上げ高さ確認	定期的に確認	支店長代理	順守確認
	産業廃棄物 収集運搬業、処分業 許可期限確認	許認可確認表 にて随時確認	支店長代理	順守確認
野焼き禁止、不法投棄の禁止	定期的な教育	支店長代理	順守確認	
自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化促進	都度確認	支店長代理	順守確認

## 15.代表者による全体評価と見直し

実施日:2019年6月18日

評価者:代表取締役 黒田知憲

項目	報告内容	代表者の評価コメント
環境方針	環境方針より 見直しの必要性	変更はしない
実施体制	実施体制より 見直しの必要性	太田支店にも拡大していきたい と思っています。
環境目標	環境目標・実績より 結果の報告	産業廃棄物の量が増えているよう です。捨てるのが処分が難しく なっていくので考えていきたい
環境活動計画	環境活動計画の内容より 内容報告	概ね変更はないが、 適宜よいアイデアがあれば 追加を検討する
環境法規	環境関連法規等の順守状況 の確認及び違反等の有無より 結果の報告	法令順守の為に従業員にも 講習会等積極的に参加させ る。
その他	特になし	—

2018年度の結果が出ました。

今年は80周年の年でもありますので社員一丸となって取り組んで  
いきたいと思います。